

# オーストラリアの新聞電子化共同事業 —全豪新聞電子化プログラム—

ヒラリー・ベルソン

新聞は、文書遺産ともいえるべき大変豊富な情報源であり、オーストラリア国立図書館（以下、NLA）のコレクションでも非常に重視されている部分である。オーストラリアの新聞の大部分は、長期の保存に備え、マイクロフィルム化されてきたが、新聞のコンテンツを取り出すためにマイクロフィルムを使用するというのは難しい場合がある。

そこでNLAは全豪新聞電子化プログラム（ANDP）を二〇〇七年に立ち上げ、二〇一一年までに四〇〇〇万以上の記事を閲覧できるようにするという目標を掲げた。現在、NLAが提供するデジタル化新聞の無料の検索配信サービスTroveには検索可能なデジタル化された六〇〇紙以上の新聞から一億一七〇〇万以上の記事と一一五〇万を超えるページが収

録されている。このANDPの成功には、共同作業が必要不可欠であった。当プログラムにはオーストラリアの州立および準州立図書館、地方図書館、さらにはコミュニティグループや一般市民のメンバーも携わっており、電子化する新聞の選択作業をはじめ、各自が持つ情報を新聞コンテンツに加えたり、さらには新聞電子化のための資金援助などを行ったりしている。

## ●オーストラリア新聞プロジェクト

オーストラリア新聞プロジェクト（ANPlan）は、オーストラリアのNLAおよび州立図書館の連合であるオーストラリア国立・州立図書館連合（NSLA）により約二〇年前に設立され、オーストラリアで発行された新聞につい

て、オーストラリアの州立および

準州立図書館が収集、保存、開示を目標として開始した共同作業である。ANPlanグループの九名のメンバーは年に三回、テレビ会議を行っている。グループの目標に変化はないが、情報が生まれて発信される手法や再フォーマット技術の劇的な変化により、目標達成の手法は急速に変化している。グループでは、電子化データの収集、新聞の再フォーマット、アウトリーチ活動といった様々な事項について話し合っている。ANPlanでは、各新聞に関する第一義的責任は、その新聞の発行元が位置する州および準州の州立・準州立図書館にある。

この確立したグループの存在により、ANDPの基盤は着実に構築されてきた。ANPlanに参加している図書館は、NLAが電子化

する新聞タイトルの選択をはじめ、電子化事業用にマイクロフィルムの貸与などを行い、ANDPを通じて新聞の電子化を希望するコミュニティグループにはアドバイスや支援を行う。また、コミュニティが行う新聞電子化事業に対しては、スポンサーとして直接的支援あるいは助成金交付も実施してきた。

## ●電子化する新聞の選択

オーストラリア国内ではこれまで約七七〇〇の新聞タイトルが発行されており、NLAはANPlanに参加する図書館や一般市民とともに、電子化に向けた新聞の選択作業を行っている。NLAは、オーストラリアのコミュニティの広がりや多様性、およびその社会が生み出す産物としての新聞というものを反映する新聞の電子化に取り組んでいる。一般市民のメンバーは、電子化する新聞をオンラインのフォームから提案することになっている。このような提案は平均して日に一、二件程度だが、集められたデータはANPlanに参加する図書館に送られ、その新聞の用途や歴史的意義、発行された地理的・地域的範囲などを基準に

検討され、全豪新聞電子化プログラム選定方針によってNLAが電子化する新聞が選出される。一般的に電子化する新聞は、すでにマイクロフィルム化されていなければならず、そのマイクロフィルムは電子化に適した品質と完成度を備えている必要がある。

しかしその一方でNLAは、ハードコピーからの新聞の電子化も行っている。最近では、新聞タ

イトルを「テーマ別に」選択すること、一九一四年から一九一八年までに発行された相当数の新聞をはじめ、英語以外を母語とするコミュニティで発行された新聞がいくつか追加された。またそれ以外の分野についても広く深く網羅しており、例えば、掲載写真の多いもの、スポーツに関するもの、宗教的あるいは文化的な内容もしくはは所有権に帰属するもの、畜産や農業、組合運動、オーストラリア労働党他の社会主義政党に関する新聞もある。



(出所) Trove 上の「Digitised newspapers」で公開されている新聞の発行地域。NLA、ポール・ヘイゴン (Paul Hagon) 作成。

Trove 上で検索できるデジタル新聞コレクションの強みはカバーする地域の広さにあり、すべての州および準州を代表する新聞

を網羅し、都市部だけでなく地方にも及んでいる。

移住者のコミュニティでの話題をその民族の言葉で伝える新聞を Trove に加えたことは、意義深いことといえる。オーストラリアで発行される移民コミュニティの新聞の総数は六〇〇を数えており、NLAとANPlanメンバーの図書館は、これらの新聞を Trove の対象に加えることを強く望んできた。オーストラリアで発行された英語以外の新聞で、最初に電子化され Trove で公開されたもののひとつに「Meie Kodu」がある。これはニューサウスウェールズ州で一九四九年から発行されているエストニア語の週刊新聞で、電子化にはエストニア公文書館がスポンサーとなった。また、増加するイタリアからの移民コミュニティ向けに発行されているイタリア語の新聞「*L'Giornale Italiano*」(一九三二〜四〇年)、さらには一九世紀半ばから発行されているドイツ語の新聞も数紙公開されており、「*Südaustralische Zeitung*」や「*Südaustralische Zeitung*」[「*Adelauer Deutsche Zeitung*」]が

閲覧できる。二〇一四年には中国語の新聞も追加されることになっており、「*Chinese Australian Herald*」(シドニー、一八九四〜二三年)、「*Chinese Times*」(メルボルン、ビクトリア州、一九〇二〜二二年)、そして一八五〇年代から発行されている「*Chinese Advertiser*」や「*English and Chinese Advertiser*」が閲覧できるようになる。

## ●電子化へのプロセス

電子化する新聞が決定されたら、今度はその新聞ページのデジタル画像を作成する。通常は原本となるマスター・マイクロフィルムから作るが、このマスターフィルムは、基本的にはANPlanメンバーである州立・準州立図書館が所有し、そこからスキャンを行う業者に貸し出される。そして、NLAでの品質確認を経て、新聞ページ画像は光学式読取装置(OCR)による作業で文字に変換される。またこの段階で、新聞コンテンツはニュースや広告、家庭欄など種類ごとに分類され、さらに、表題や小見出し、ニュース記事の要約、著者などの重要な文章が再入力される。そして二度目の品質確認を経て、Trove で公

開される。電子化されたすべての新聞は全テキストが検索可能で、それ以外のオーストラリアの新聞の文脈においても検索することができる。Trove上では、ユーザーは新聞の検索をしながら、それに関連する書籍や写真、地図、録音記録など形式の異なる情報も簡単にみつけることができる。電子化されたコンテンツは、今後ともNLAによって安全に保存および管理されていく。

### ●ユーザーのコミュニティ

オーストラリアで発行される新聞という文書遺産を大量かつ豊富に閲覧できるTroveは、非常に多くの利用者呼び、歴史上の事項のリサーチ方法にも、寄せられる質問の種類にも影響をもたらした。さらに、電子化された新聞コンテンツについて、ユーザー自身がテーマのタグ付けや文章の修正、注釈の付与ができるなど、内容に直接触れられるだけでなく補強もできるといえるのもその大いなる人気の要因となっている。これまでに行数にして一億一三〇〇万を超える文章が修正され、より多くの行数を修正した「上位」修正者は、Troveのホームページ

に掲載されている。

### ●寄贈者のコミュニティ

新聞の電子化事業について、各地の図書館やコミュニティグループ、その他の組織もスポンサーになれるというのが人気のひとつで、NLAは独自の寄贈者規範(Contributor guidelines)をもとにその機会を提供している。この寄贈者規範は幅広い支持を得ており、新聞電子化事業に資金援助を行う組織や寄贈されるタイトルの多さからもそれがうかがえる。二〇一〇年から七一の寄贈者によって四〇〇タイトル以上がTroveで公開されており、また二〇一四年六月までには、寄贈された五二一の新聞タイトルの電子化が完了する予定である。このようなスポンサーには、ANPLANに加する州立および準州立図書館をはじめ、地方の図書館や自治体、歴史資料館、大学、新聞社、地元企業などが名を連ねてきた。なかには、独自の電子化事業に多くの年数を費やし、より大きなプロジェクトを完成させたグループも複数あった。

また、連携して相互に利益のある事業を成功させたことのある寄

贈者もいた。例えば「The Cumberland Argus and Fruitgrowers Advocate」の電子化は、ある段階においては、一一の地方自治体をはじめ、ニューサウスウェールズ州図書館評議会、ニューサウスウェールズ州立図書館(以下、SLNSW)、NLAとの共同作業を行っている。

### ●ウィキペディア (Wikipedia)

ウィキペディアは、最適のコミュニティが新聞の記述内容へのアクセス拡大に向け共同開発を行うための手段となっている。電子化された各新聞タイトルのTrove上のページには、そのタイトルに関するウィキペディアへのリンクが貼られている。SLNSWは、スタッフに対し新聞用にウィキペディアの記事を作成する研修を行うだけでなく、ウィキメディア・オーストラリアと連携して、ニューサウスウェールズ州内の公立図書館のスタッフに対しても、地元の新聞に関する独自の情報についてウィキペディアを通じて共有できるよう指導を行ってきた。

NLAが先日キャンペーンで主催したワークショップでは、ANPLANメンバーである他の図書館の司書

に対しても研修が行われ、Trove上のデジタル化新聞を利用するユーザーが、コレクション内の新聞について有用性の高い情報にアクセスできるよう支援体制を整えている。

### ●結論

オーストラリアで発行される文書遺産である新聞に無料でアクセスできるNLAのANDPによるサービスには、共同作業が重要な要素となっている。この共同作業は、国立、州立、準州立の図書館との共同作業であるオーストラリア新聞プロジェクトを含む様々な働きを通じて促進されてきた。電子化する新聞の選択には、より大きなコミュニティがNLAと連携しており、資金の援助から独自情報データベースへの追加へと繋がっている。

(Hilary Berthon / オーストラリア新聞プロジェクト・コーディネーター)